

**ゼロ****Start!!**

須賀川市立仁井田中学校
 学校通信 No.44
 発行者：校長 中瀬 宏昭

不審者対応訓練が行われました!

10月31日(月)に須賀川警察署生活安全課の方とスクールサポーターの2名をお招きし、不審者対応訓練を行いました。先日、他県では不審者による学校内での暴行事案が発生するという出来事があったばかりで、職員、生徒ともに緊張感を持った訓練となりました。「学校は安全・安心な場所であればならない」ために、職員、生徒それぞれに対応についてご指導いただきましたが、

- ・毅然とした大きな声で不審者には対応すること
- ・不審者は校舎内に入れず、外で対応すること
- ・”安全確保”は、警察官によって不審者に手錠がかけられたとき
- ・バリケード設置後は声を出さず身を隠すこと
- ・不審者情報は、誰かを待たずにすぐに110番すること
- ・訓練は同じやり方ではなく、様々な時間や状況の中で行うこと

など、大切なことをご指導いただきました。

また、今回は、近年増加しているSNSによる加害、被害の防止についてご指導いただきました。

- ・条例が改定され、裸の写真を要求された時から被害が成立し、犯罪となること
- ・オンライン販売によるチケット詐欺事件が増加していること
- ・写真を送ったり投稿したりしてしまえば、回収は不可能である。過去の写真が何年か後に見つかり、生活に影響が出ることも…
- ・警察に相談窓口があるので、相談してほしいこと

ネット加害、被害防止、ネット依存防止のために

近年、ネットの事件は、最悪の結果に至るケースも多く、関西でも小・中学生が命をなくすという痛ましい事件もありました。子どもたちのネット世界は大人も知らないことが多く、「うちの子は大丈夫でしょう…」としか考えられないのが現状でしょう。

はじめに交わした約束もどこへやら…。いつの間にか親が寝ている間もYoutubeや対戦ゲームに熱中し、寝るのは2時、3時。学校に遅刻したり、家庭学習が全く出されないときがあったり、授業中に居眠りしたりしているケースは本校生徒の一部にも見られます。

学校が把握した場合、指導を行います。が、家庭での様子はわからないことが多いので、保護者の皆様のご理解と協力、そして学校との連携が必要です。ぜひ、子どもたちを真ん中にして学校と保護者が連携してよりよい生活習慣を身につけさせていきたいものです。

【スマホが学力を破壊する 川島隆太 著】 ~スマホをやめるだけで偏差値が10上がります~

- ・長時間ゲームをすると、脳の記憶や自己コントロール、やる気などを司る細胞密度が低くなるなど、発達が阻害されている
- ・スマホを前に置くだけで、認知能力(思考力、問題解決力)が阻害され、成績が低下する
- ・スマホを1日1時間以上使用すると成績が低下する
- ・使用アプリ数が多いほど成績が下がる
- ・手紙を書いたり体験したりするときは、前頭前野(脳の思考中枢部)は活発に働くが、ITを利用したメールやSNSのやりとり、ゲームでは抑制される
- ・学習意欲の源泉は、朝食の習慣と家族とのコミュニケーションである。



※仁井田中学校ホームページもこまめに更新されています。ぜひご覧ください!

